

# 定住先の魅力高める高速道路

邑南町定住支援コーディネーター **横洲竜さん** (邑南町)



よこす・りゅう

1973年、広島市生まれ。高校卒業後、専門学校を経て、東京都の会社でグラフィックデザイナーとして勤務。その後帰郷し、小売店などの勤務を経て、2010年9月に邑南町にIターン。町定住促進課で定住支援コーディネーターとして、U・Iターン者や希望者の相談にのる。

## Iターンのきっかけが「高速」



高速道路を使うと広島市から約1時間の緑豊かな於保地盆地=邑南町

広島市から邑南町へ2010年にIターンしました。きっかけが、まさに「高速道路」です。当時、婚約中の妻と広島市中心部に住んでいましたが、子育てするならビルの谷間より、自然豊かでご近所

付き合いもある田舎だと考えており、休みの日は、移住を夢見ながら、広島県北部を回り、趣味の温泉巡りをしていました。そんな折、地図で高速道路に乗ればすぐの場所に温泉があるのを見つけ、向かったのが、邑南町のいわみ温泉霧の湯でした。

温泉からは、緑豊かな於保知（おほち）盆地が一望でき、魅了されました。車内で、妻と「ここで子育てしたいね」と盛り上がり、役場の窓口で定住情報を収集。町が募集していた定住支援コーディネーターに応募し、採用されました。高速道路がなかったら、来ることもなかったかもしれません。今では、妻と2歳の長女と暮らしていますが、理想的な環境で子育てできるのも、道が結んだご縁ですね。

## 便利さ背景に定住者増加

移住して4年、不便さを感じたことは特にありません。町内のスーパーなどで一通りの物はそろいますし、浜田道を使えば、広島市に1時間かかりません。医療面でも町内に総合病院が

つなげよう山陰道 ～人、物、命をつなぐ社会基盤～

あり、緊急時は、浜田や広島市の病院への搬送も可能で、安心感があります。コーディネーターとして、U・Iターン者や希望者の相談に乗っていますが、この「便利さ」は大きな魅力で、都会に近い田舎「トカイナカ」と呼ぶIターン者の方もいらっしゃいます。私自身も、広島市に亡くなった両親の墓や親類の家があり、何かあっても、すぐに帰れるのは大きいです。

すべてがあるわけではありませんが、不足分を高速道路などのインフラが補い、さらに町の支援策もあり、定住者は右肩上がりです。町が支援したU・Iターン者数は10年度が13世帯22人でしたが、昨年度は35世帯56人。現在は希望者に対し、住まいの確保が追いつかない状態です。定住の形態も様々で、町内で就職する方もいますが、町外で働き、遠くは広島市まで通勤している方もいます。

## オール島根で定住支援を

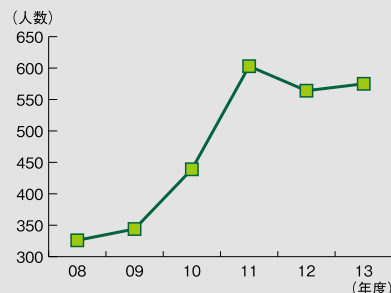
定住に果たす高速道路の効果を感じていますが、細長い島根県の東西を結ぶ山陰道は、まだ未整備区間が多いです。私も、子どもを連れてグラントワ（益田市）のイベントに行く機会がありますが、遠いと感じ、少しちゅうちよします。現在は、県内の各自治体が定住者獲得で競い合っていますが、山陰道ができて、アクセスがよくなれば、行動範囲が広がり、職場、医療、文化、教育など、各地域で不足しているものをお互いに補完しやすくなります。そうすると、各地域と言うよりも、県全体が定住先として魅力が高まり、オール島根で、定住対策に取り組む体制が整うはずですよ。

定住対策に以前から取り組んできた邑南町にはIターン者の先輩が多くいて、相談にのってくれます。他地域では「なじめない」と悩むIターン者の話も聞きますが、地域間の交流が活発になることで、Iターン者同士の連携が深まり、定着につながることも期待しています。

### Memo

#### ■島根県へのU・Iターン者数

(※市町村の相談窓口を通してU・Iターンした人)



島根県しまね暮らし推進課によると、2013年度、県内にU・Iターンした人は、前年度比で約2%増の575人。近年は、県や市町村などによるU・Iターン施策の強化に加え、田舎暮らしに興味を持つ人の増加、ふるさと帰郷の動きなどで増加傾向になっている。各市町村では、定住支援員の配置など、受け入れ体制を整えている。